

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話す力、書く力の向上。 ・漢字力、語彙力の伸長。 ・読書への興味づけと習慣づけ。 ・読解力、表現力の向上。 ・基礎知識の定着。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的にスピーチやブックトーク等を実施し、書くことも連動させて相互評価を行う。短歌、俳句、詩歌、条件作文など「書く」楽しさに気づかせる。 ・定期的な漢字テストを実施し反復練習を継続する。 ・朝読書時間の確保と書籍紹介以外にも多くの文章に触れる機会を設ける。 ・文章の読み取りの着眼点の確認、論理的文章から得た考えと根拠の文章化を習慣づける。 ・eライブラリによる自主学習を定着させる。 	
社会	<p>授業への取り組みは意欲的で、社会的な事象に対する関心が見られる。資料を読み取り、特色を関連付けて課題を探究する活動を通し、社会的な見方・考え方を身につけさせることが必要である。</p>	<p>様々な資料、グラフを活用し、数値、変化を読み取り、テーマを決めてグループで話し合ったり、発表する活動を取り入れる。授業プリントで課題解決学習に取り組み、地理・歴史・公民の3分野の視点から、思考力・判断力・表現力を養う。</p>	
数学	<p>授業への取り組みは意欲的であり、生徒はしっかりと学習に取り組んでいる。授業前の計算ドリルは定着していて、計算技能については成果が見られる。学力調査の結果から、工夫して計算することに課題がある傾向が読み取れるため、思考力、判断力、表現力をつけることが課題である。</p>	<p>章ごとの自己評価シートやテスト直しシートなどを使い、表現力を育成する。グループ学習などを通しての対話的な学びから思考力、判断力を育成する。また、単に正解を求めるだけではなく、よりよい考え方を模索し、計算の質を高めさせる指導を行う。</p>	
理科	<p>授業に意欲的に取り組み、特に観察・実験の授業に積極的に行っている。また、基礎的な知識は定着している。課題としては、科学的な考察や、論理的にまとめる力が不足していることなどが挙げられる。</p>	<p>観察や実験結果の考察を自らまとめることや、グループなどで意見交換を行い、他の意見の良いところを取り入れ、発表する授業を行っていく。これらの活動を通して、科学的な考察や、論理的に文章をまとめる力を養う。</p>	
音楽	<p>全学年を通じて、意欲は十分にある。表現領域において基礎となるべき読譜力が欠ける生徒や、鑑賞領域における批評や感想で、表現力が乏しい生徒が多い。コロナウィルス感染の影響により、実技の取り組みに制限がある中、「自分が発する音」と「楽譜の関係性」や、音楽を批評する場合の「言語表現」をトレーニングする指導を行う必要がある。</p>	<p>1年：複数の小学校から生徒が集まるため、各自が身につけた「基礎力の再確認」を行いながら、読譜の基礎である音符・休符などの記号を確認する。</p> <p>2年：昨年度の既習曲にも触れながら、具体的に発せられた音と楽譜の関係を結びつけられるような指導を行う。</p> <p>3年：積極的にグループ活動を取り入れ、基礎的な読譜力の確認を織り交ぜながら、お互いの感じ取りや思いを共有できる授業を工夫する。</p>	

美術	<p>友達と作品を鑑賞し合うことで、自作品の改善に役立てられた。このように向上心をもって学習に取り組める。しかし、総制作時間と制作進度の兼ね合いを考え、見通しを持って取り組む力が不十分な生徒が多い。</p>	<p>今まで行ってきた、制作進度の目標と授業の残り時間を黒板で示し、授業の冒頭に伝えることに加え、作業記録シートの書式を改善し、生徒が意識して作業を進められるようにする。</p>	
保健体育	<p>何事にも積極的に取り組もうとする生徒が多い。しかしマスク着用の影響もあり、強度の高い運動を継続することができず、体力向上が進んでいない。また男女共習により、運動能力の差も大きくなっている。体力や技能の向上に向けて自身と向き合うことや互いに高め合うことが課題。</p>	<p>個人やチームの課題に対して、生徒が自ら課題解決に向けて取り組むことができる授業を展開する。また個の能力に応じて教員から指示や助言、サポートをおこなう。 男女共習の授業を行い、性差を理解し互いに協力するとともに、体力や技能を高めるために教え合うことのできる授業を展開する。</p>	
技術家庭	<p><技>製作への意欲はあるが、切削・組み立て等の技能面にやや課題がある。 <家>与えられた作業に関しては意欲的であるが、それを発展させ作品等に生かすことが難しい。</p>	<p><技>作品の製作前に、端材等を利用して、鉋や錐の基本的な使い方を身につけさせる。 <家>身につけた知識を作品や実生活で活用するために、具体例の提示や個々に応じたアドバイスを等をする。</p>	
外国語	<p>形通りのライティング活動や、スピーキング活動には積極的に取り組むことができる。基礎的な知識・技能は定着していない。</p>	<p>ライティング活動やスピーキング活動を即興で行う機会を授業内で取り入れる。単語テストを定期的に行い基礎的な語彙力の充実から知識・技能の定着を図る。</p>	